

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
<http://www.orgel-horie.or.jp/> Email info@orgel-horie.or.jp



クリスマスの音楽

Christmas(クリスマス)とは、イエス・キリストの降誕を祝うキリスト教の記念日です。キリスト教圏では無いここ日本でも、クリスマスが近付くとお祝いムードが高まり、讃美歌などのキリスト教音楽を何気なく耳にする機会が増えますが、実は「キリスト教」と「音楽の聴くこと」には、とても深い関係があるのです。

そもそも西洋の芸術というのは、キリスト教を中心に発展してきたと言っても過言ではありません。音楽や絵画は、文字が読めない信者のために、聖書のストーリーを聴覚的・視覚的に伝え得る手段として、常に教会と密接な関係にありました。特に宗教改革以降、信者の流出を恐れたキリスト教最大の宗派カトリック教会は、それまで以上に音楽や絵画の作用を重要視します。即ち、キリスト教を讃える圧倒的に美しい作品で教会を満たし、信仰心を抱かせ、信者の流出を防ごうとしたのです。カトリック教会と対立したプロテスタント教会もまた、「音楽の父」と讃えられる大作曲家バッハを輩出しました。キリスト教と芸術は切っても切り離せない関係であり、芸術作品に触れるという行為そのものが、信仰の拠り所であるとさえ言えるのです。ですから、多くのヨーロッパ富裕層が、家庭で手軽に音楽を楽しむことができるオルゴールに、讃美歌などの宗教曲を入れたいと考えたことは、ごく自然な流れであったように思われます。当館のコレクションの中には、讃美歌やオラトリオなどの宗教曲ばかりを集めた Hymn Box と呼ばれるオルゴールがあり、ヘンデル作曲の「メサイア」やクリスマス・キャロルなど、クリスマスの定番曲も数多く入れられています。



左の写真は 1872 年にスイスのニコル・フレール社で作られた Hymn Box で、日本でも有名なクリスマス讃美歌 O Sanctissima(いざ歌えいざ祝え)などが入っています。

O Sanctissima(いざ歌えいざ祝え)は、シチリア島に伝わるマリア賛歌「いざ歌え」のメロディーに、ヨハネス・ファルクが歌詞をつけたもので、イエスの生誕を祝うクリスマスらしい内容となっています。



讃美歌 108 番 O Sanctissima

いざ歌え いざ祝え うれしきこの宵
神の御子 現れぬ いざほめたたえよ
いざ歌え いざ祝え 楽しきこの宵
救い主 世に出ぬ いざほめたたえよ
いざ歌え いざ祝え 清けきこの宵
いと高き みどりごを いざほめたたえよ

昔の富裕層達も、このようなオルゴールの音色を聴きながら、クリスマスのひと時を過ごしていたのかもしれませんが。一度、ゆっくりとクリスマスらしい音楽に耳を傾けながら、聖夜を過ごしてみたいかがでしょうか。

オルゴールのお部屋とリクエスト特集

1月3日(火)～3月31日(土) 休館 月曜日(祝日は開館)

*一般の方(1名様～19名様)の案内は木曜～日曜、祝日です。

お部屋の中に何気なく置いてあるイスもアルバムもみんなオルゴール・・・! 「オルゴールのお部屋」にはいくつオルゴールが隠されているのでしょうか??
一般の方は1月5日からお楽しみ頂けます。



JAZZ&RAGTIME

2月9日(木)～12日(日)

午後3時より

スコット ジョプリンからジョージ ガーシュインまで



スタインウェイの自動ピアノ(1924年製)、
足踏みピアノ(1925年頃)、自動バンジョー(複製版 1996年製)でお楽しみ下さい。



予約制となっております。詳しくは当館のホームページをご覧ください。
未就学児童の方のご入館、ご同伴は御遠慮下さいませ。

年末年始の開館の御案内

年内は12月25日(日)まで 新年は一般の方は1月5日(木)より開館致します。
20名様以上の団体の方は1月3日(火)より御案内させて頂きます。

オルゴール博物館ニュース



左; 秋の庭園特別公開が11月1日から12月4日まで行われました。今年も気候にも恵まれ去年の2倍の来館者数となりました。

右; 西宮まちたび博プレミヤイベントの様子です。

